

## 黒炭窯築窯体験会に参加して

社団法人岩手県木炭協会が主催する黒炭窯築窯体験会に参加して、実際に炭窯づくりの貴重な体験をしましたので紹介します。

### 1 築窯体験会の概要

体験会は平成24年10月15日～19日の5日間にわたり、久慈市戸呂町地内の上平林業製炭場で行われました。築窯の講師は中村仁三郎氏で、今回は新築ではなく、5基ある窯のうち約30年間使用した炭窯1基を再築するものです。

参加者は約30名、延べ70名以上で、私は2日目と3日目に参加しました。

### 2 築窯の手順

- ①古い炭窯は岩手大量窯で、先ず屋根をはずし炭窯の天井と窯口を壊します。吊り金具はリサイクルするためとっておきます。
- ②煙道の部分は耐火煉瓦などを使って再構築し、窯底と窯壁に板を敷き詰め、窯の奥から炭にする炭材を敷き詰めていきます。
- ③窯口の部分まで炭材を立て込んだら、焚口となる型枠を作って取付け、窯口の前面となる部分に鉄板の型枠を据付けます。
- ④窯土原料（珪藻土）に水を加えて練り、窯口部分に詰めて突き固めます。更に窯壁の天井となる周囲に珪藻土を詰めて突き固め、煙道口部分を完成させます。
- ⑤窯の天井の形を作るため、炭材の上に端材等で上げ木を行い、天井の形を整えるためチップ材を敷き詰め、最後にブルーシートで天井を覆います。
- ⑥天井部分は周囲から中心部に向い、時計回りに珪藻土を厚さ 20～30cm に突き固め

ながら全て覆い、更に土木用の機械で固め、窯の天井に吊り金を埋め込んで、最後に人力できれいに仕上げます。

- ⑦丸太や木材を使って炭窯の上に屋根を作り、最後に前方の型枠の鉄板をはずし、窯口を突き固めて形を整えて完成です。

以上が大まかな手順ですが、細部のやり方は製炭者や地域により特徴があるようです。

